

えー A ない声かけ運動！



(ダウンロードはこちら)

“あわてず！” “あせらず！” “あなどらず！”
声をかけ合っていきましょう！

厚生労働省

栃木労働局

増加する転倒や腰痛などの「行動災害」を含め、労働災害の起因となる**危ない行動を発生させない**ために、頭文字が「A（あ）」で始まる**“あわてず” “あせらず” “あなどらず”**をキャッチフレーズに、**職場内で声をかけ合って**いきましょう！

○安全を栃木から ～ 「安全第一」発祥の栃木県

1900年代初頭のアメリカで、USスチールのゲーリー社長は、悲惨な労働災害により苦しむ労働者たちの姿に非常に心を痛み、1906年に業界一般の方針「生産第一、品質第二、安全第三」から「安全第一、品質第二、生産第三」に改めました。その結果、労働災害が減少するだけでなく、生産性も、品質も向上したため「Safety - First」は全米に広がりました。

日本では、古河鉱業足尾鉱業所（栃木県日光市（旧足尾町））の**小田川全之所長**が、アメリカから、この考えを持ち帰り、大正元（1912）年に「安全専一」を掲げ、「安全心得読本」を配布したのがその始まりで、やがて全国に広がっていききました。日本で最初の「安全第一」運動です。

また、作業現場での声かけでは、「ご安全に！」という声かけが広く知られております。昔ドイツの炭鉱夫たちの間で使われていた「ご無事で！（グリュックアウフ）」という挨拶が由来と言われており、日本では昭和28年に兵庫県の鉄鋼工場で「ご安全に！」が使われ、その後鉄鋼業界を中心に広まったとされています。

時がたち、時代が変わっても、仲間を思いやる気持ちは変わりません。皆さんも積極的に職場のみんなに事故に遭わせないための「声かけ」をお願いします。



おだがわまさゆき



○安全を栃木から ～ S A F Eアワードで全国1位！

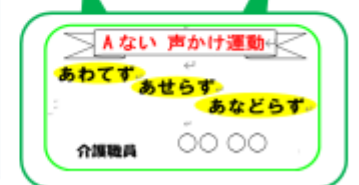
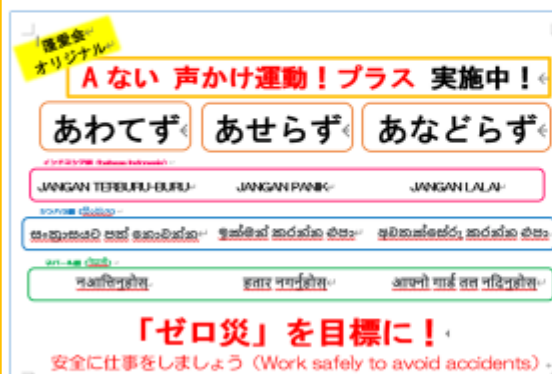
栃木県内に本社を置く社会福祉法人**蓬愛会**は、外国人介護職員も含めた安全衛生対策として「Aない声かけ運動！」の名札を活用し「労災ゼロ」を目指しています。

その取組が、労働災害防止において優良と認められS A F Eコンソーシアムの「S A F Eアワード」においてゴールド賞（全国1位）を受賞しました。

この取組は厚生労働省ホームページでも公開され、好事例として全国で活用されています。

■安全衛生対策の「見える化」③Aない声かけ運動■

●外国人労働者も【労災ゼロ】を目指し、法人全体で取り組もう！



(ほうあいかい)
社会福祉法人 蓬愛会

● **慌てて**作業を行ったことによるはさまれ災害！

〔発生時の状況〕

被災者は、配膳車を引っ張ってエレベーターに入れようとしていたところ、エレベーターの扉が閉まる前に、慌てて配膳車を移動させたため、エレベーター脇の廊下の壁と配膳車の間に手首を挟み、骨折した。

〔原因〕

配膳車をエレベーターに入れる際、エレベーターの長時間開放ボタンを使用せず、慌てて、配膳車を移動させたこと。強い力で配膳車を引っ張ったため、配膳車に勢いがつき、制御できなかったこと。



● **焦り**による行動で全身やけどを負って死亡！

〔発生時の状況〕

被災者は、トラックの荷台に積んであった燃料タンクのセンサーを交換しようとしてタンクから外したところ、タンク内の燃料が噴出して全身に被ってしまった。付近には暖房用ストーブがあったことから、焦った被災者はストーブを消そうと近づいたところ、服に引火し、全身に火傷を負って死亡した。

〔原因〕

ストーブの停止を他の労働者に任せる等せず、燃料を全身に被った被災者自身が行ったこと。



● 逸走したトラックを**慌てて**止めようとして挟まれ死亡！

〔発生時の状況〕

被災者は、トラックの積荷を降ろすため、緩やかに下った傾斜地に後ろ向きでトラックを停車させて降車した。被災者がトラック後部扉を開けようとして、トラック後部に回ろうとしたところ、傾斜でトラックが後退（逸走）してきたため、慌ててトラックを手で止めようとしたが、停車場との間にはさまれて、全身圧迫により死亡した。

〔原因〕

サイドブレーキの引きが甘く、輪留めもしなかったこと。

